

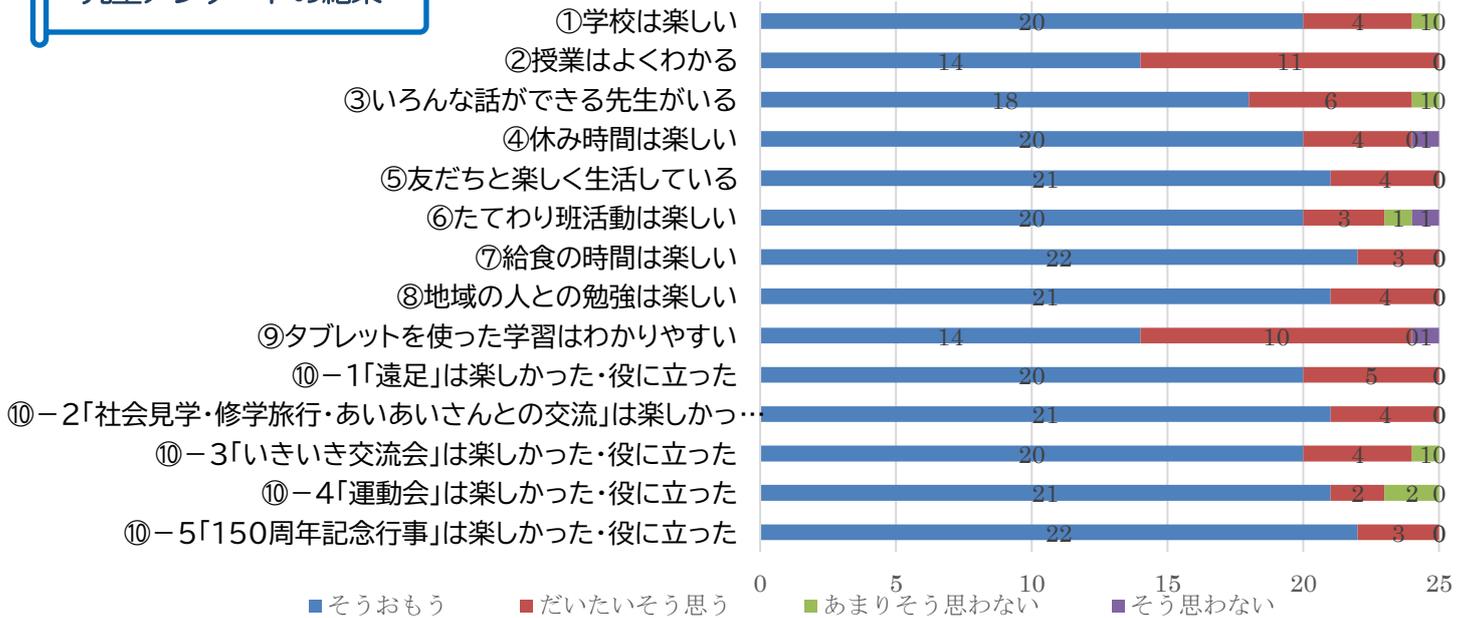
学校だより 第26号

心豊かで 確かな学力をもち 心身ともに健やかな子どもの育成
令和8年2月18日 津市立榊原小学校

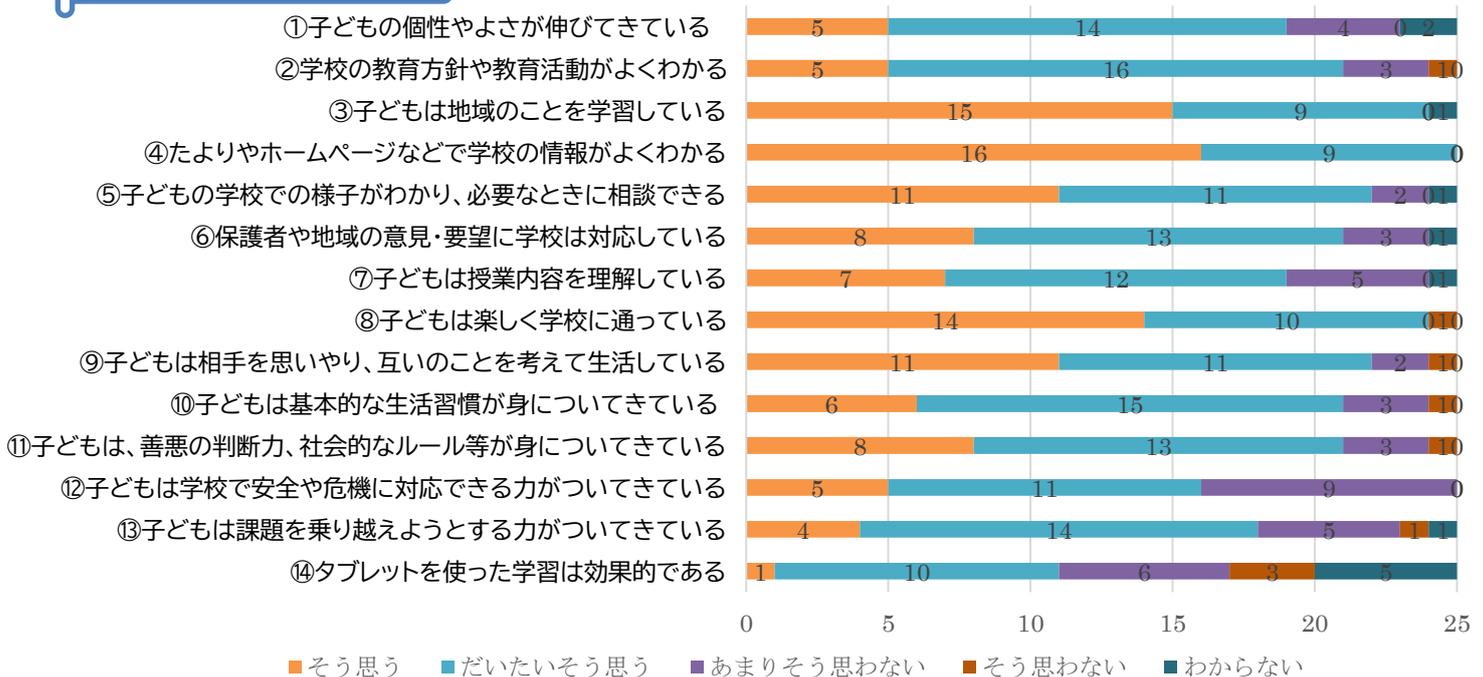
令和7年度 学校教育活動に関するアンケート結果

昨年12月に保護者の皆様と児童に令和7年度の榊原小学校の教育についてアンケート調査を行いました。今年度の本校の教育活動に評価・ご意見をいただきありがとうございます。この評価を参考にさせていただきながら、より一層の充実を図ってまいります。

児童アンケートの結果



保護者アンケートの結果



保護者の皆様のご意見をもとに改善してまいります。
貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

<保護者アンケート 自由意見から>

- ・上級生が下級生のことを自然と気遣い、リーダーとしての役割を発揮できるようになっている点は、「少人数学校ならではの活動の中で培われていて、そのような指導も素晴らしいと思います。しかし、日頃から先生に気を遣い、リーダーシップをとるといった責任感が先行し、行事が負担になっていないか、心配になります。

《学校より》今までの素敵な高学年の姿に憧れ、自分たちもそうなろうと努力して行事に懸命に取り組む活動する高学年の姿には日々感心させられていました。そんな姿の裏側に、一人ひとりへの負担が大きくなっていったのは確かです。その結果、子どもたち自身が「行事を楽しむ余裕がなかった」とのお声も届いています。子どもたち自身が自ら「やりたい」「挑戦したい」と意欲を持ち、終了後にはやりがいや達成感をもてるような行事運営の計画や指導（子どもたちへの教員からの働きかけ）を行っていきます。

昨年度のアンケートと比較すると、本校の教育活動について、保護者の皆様に十分に理解していただけていなかった部分が多くみられたという残念な結果が出ました。児童アンケートの結果と比較して、児童の評価は高くても、保護者の皆様からの肯定的な捉えがずいぶん低いものがありました。また、「わからない」を選ばれたり「だいたいそう思う・あまりそう思わない」の両方を選ばれたりした方もあったことから、学校での取組を保護者の方たちに十分にご理解いただけていなかったことに気づかされました。今後はさらにアンテナを高くし、保護者の皆様は何を知りたいと思ってみえるのか、何を必要としてみえるのか、何に不安を感じてみえるのか等について、保護者の皆様の声をこまめに吸い上げ、信頼を築き上げていかなければならないと感じました。



- ・子どもの個別の「輝き」を具体的にこまめに伝えるようにします。
- ・授業でタブレット端末を活用している様子を授業参観で見させていただいたり、どのようにタブレットを使ったら効果的だったのか等について、学校ホームページや学級通信で発信したりします。家庭学習で活用する姿を見ていただくなかでの感想やご意見を保護者の皆様からもいただく機会を設けます。
- ・少人数を生かした個に応じた学習課題の提供と一人ひとりが「わかった」「できた」「もっとやってみよう」と実感できる授業の改善に努めます。
- ・子どもたちが安心して生活できるような環境整備と防災教育をていねいに行います。学校での学びを、ご家庭でも話題にしてもらえるよう取り組みます。
- ・課題や困難にぶつかったときに、すぐにあきらめるのではなく、今までの学習内容や経験の中から自分なりに別の方法を見出したり、まわりに聞いたり、粘り強く取り組んだりした過程を称賛したりして、子どもたちが「乗り越えられた」と達成感を実感できるように努めます。

来年度も、学校・地域・家庭の連携を大切に、地域と一体となった教育活動を行います。授業参観や学校行事など、実際に子どもたちが生き生きと活動する姿を実際にご覧になっていただく機会を設けるとともに、学校だより・学級通信、学校ホームページ等を通して学校生活の様子や教育方針・教育活動がわかるよう、配信していきます。一人一台タブレット端末の活用や教育活動の発信に際して、様々な意見やお考えを保護者の方々からもお聞かせいただき、指導や学校運営の改善に生かします。子どもたちや保護者、地域の皆様からお寄せいただいた様々なご意見やお考えを、指導や学校運営の改善に生かしていきます。よりよい教育活動のために、皆様からのご意見やお気づきの点をぜひ、お気軽にお聞かせください。

<学校運営協議会での評価> 2月16日(月)

第3回目の学校運営協議会を開催しました。今年度の教育活動を振り返り、委員の皆様から今後の改善に向けた貴重なご意見を多数いただきました。児童・保護者アンケートの結果から見えてきた課題についても、具体的な事例を挙げながら協議を深めることができました。学校が大切にしたいと考えることをお伝えし、保護者の方にも理解していただいた上でともに進めていく必要性をご提言いただきました。今後の教育活動に真摯に反映させ、「すべては子どもたちのために」という視点を大切に、教職員一丸となってより良い学校づくりに努めてまいります。